保険請求事務講習会(医科・初級)

保険請求事務を始めたばかりの方や経験年数の浅い方を対象とした、初級保険請求事務講習会を開催します。保険診療の仕組みから、点数計算、レセプトの作成など、保険請求事務の基礎を学びます。下記要領で開催いたしますので、ご参加ください。

◆日　時

①2025年5月25日（日）10時～15時　※締切5/13(火)

②2025年6月29日（日）10時～15時　※締切6/17(火)

※すべての日程昼食休憩あり

◆会　場

①②ともに**兵庫県保険医協会５階**（JR「元町駅」東口から南へ徒歩８分）

◆プログラム

保険診療とは/窓口業務/点数の解説/診療報酬請求の実務/レセプト事例解説

◆来場定員 ･･･ 70人（Zoom併用）

事前申込順。定員超過の場合、１医療機関の参加人数を制限させていただく場合がございます。予めご了承ください。

※協会の会員医療機関のみのお申し込みとなります。

未入会の場合は、入会手続きの上でお申し込みください。

◆参加費

来場・Zoom参加いずれも１人につき7,000円　（テキスト・資料代含む）

※来場参加者で昼食弁当（お茶付）を希望の方は、別途1,000円

〈来場申し込み〉☎078-393-1840　事務局　杉本までご連絡ください。

〈ZOOM申し込み〉

下記のQRコード又はURLからお申し込みください。登録後に確認メールが届きます。

① https://x.gd/1QyZ5　5/25

② https://x.gd/N2ZES　6/29

兵庫県保険医協会
神戸支部ニュース
385号
2025年3月25日付

発行　兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024　神戸市中央区海岸通1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル５Ｆ
兵庫県保険医協会　TEL078-393-1801　FAX078-393-1802

研究会「なぜ人は依存症になるのか　日常診療で見かける依存症～市販薬を中心に～」感想文

依存状態を否定せず 患者に寄り添うことが大事

乱用市販薬が子どもに与える危険性を語った松本俊彦先生（右）

神戸支部は、2月15日、協会会議室とオンラインで研究会「なぜ人は依存症になるのか　日常診療で見かける依存症～市販薬を中心に～」を開催。松本俊彦先生（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長）を講師に、46人が参加した。座長を務めた大谷夏実先生の感想を紹介する。

日常診療の中で市販薬乱用や依存はよく見かけることと思います。特に10代における市販薬乱用が増えてきており、乱用市販薬の種類もいろいろなものがあります。メチルエフェドリン塩酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩の２大成分があり、市販鎮咳・感冒薬に含まれ、意欲増進、気分改善、眠気を伴わない抗不安作用などを呈します。その効果のために乱用する人が多いですが、身体依存を呈するために離脱症状として抑うつ気分や、時に自殺行動も誘発することもあるようです。

また市販薬を乱用・依存している人は、大量に市販薬を購入するためにお金がかかることから、市販薬に依存物質がどれくらい含まれているかなどのコスト比較の話が興味深かったです。

（2面につづく）

（１面からのつづき）

市販薬の過量服薬（ＯＤ）も多く、ＯＤによる救急搬送はコロナ禍において２～３倍になっているとのことです。リストカットとＯＤの相関は高く、自殺にもつながる危険因子であるようです。

最後に講演を聞き終わって感じたのは、日常臨床でも市販薬乱用をしている患者さんを見かけますが、市販薬を使うことを否定せず、どうして使用しているかなどを聞くことが大事だと思いました、依存症の知識がなくても寄り添うことが必要だと感じました。

【長田区　大谷　夏実】

健康と医療について語り合う会に 23 人参加

気道感染症とは何か？

土屋先生（左）が気道感染症の種類と予防対策を紹介。参加した聴覚障害者（奥）から活発に質問が出され、手話通訳者が手話で伝えた

神戸支部は、2 月 27 日（木）に健康と医療について語り合う会を神戸市婦人会館で開催し、23 人が参加した。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会（いのちを考える会）」の講師派遣の要請に応え、神戸支部が運営に協力しているもの。

独立行政法人国立病院機構神戸医療センター呼吸器内科の土屋貴昭先生が「高齢者が気をつけなくてはいけない冬の気道感染症ー咳、微熱、倦怠感が続くときー」をテーマに講師を務めた。

次号に参加者の感想を紹介する。

兵庫県保険医協会 神戸支部　職員接遇研修会のご案内

患者接遇の基本とクレーム対応

兵庫県保険医協会神戸支部
支部長　田中　孝明

医療機関では、患者さんが安心して頼ることのできる職員とのコミュニケーションが求められており、接遇の質の向上が、医療への信頼と医院の印象を一層高めることにつながります。神戸支部では、新人スタッフだけでなく、ベテランの方も含めた職員教育の一環として接遇研修会を毎年開催し、好評をいただいています。

今回は社会保険労務士として医療・介護事業者向けスタッフ教育事業等を手掛け、日経メディカルオンラインでも連載中の榊原陽子先生をお招きし、すぐに実行できる接遇のポイントをはじめ、スタッフへの迷惑行為やクレームの対応法をわかりやすくお話いただきます。ぜひご参加ください。なお、年２回の研修実施が求められている医療安全管理研修会の一環のため、受講者には受講証を発行させていただきます。

日　時　４月１９日(土)　14：30～16：30
会　場　兵庫県保険医協会第１・２会議室
講　師　榊原　陽子 先生（社会保険労務士、株式会社マザーリーフ代表取締役）
参加費　１人　1000 円
定　員　50 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

【講師略歴】全日本空輸株式会社（ANA）に客室乗務員として入社、後輩の育成、組織マネジメントなどの管理業務を行う。2002 年に榊原陽子社会保険労務士事務所を開業、06 年株式会社マザーリーフを設立。16 年東京医科歯科大学大学院卒業。著書に『医療機関のホスピタリティ・マネジメント』

※お問い合わせは、TEL：078-393-1807　神戸支部担当：小西、呉(ゴ)まで

神戸支部職員接遇研修会（４月 19 日）申込書　(FAX：078-393-1820 までご返信ください)

●地区[　　区]　●医療機関名[　　]

●TEL[　　]　●FAX[　　]

参　加　者　氏　名	職　　種	経験年数
		年　　ヵ月
		年　　ヵ月
		年　　ヵ月
		年　　ヵ月
		年　　ヵ月

※満席により受付ができない場合は、担当事務局から連絡させていただきます。

※受付完了、及び、会場案内地図は開催日の一週間前に FAX させていただく予定です。